

全年代注意！メール(SMS)で特殊詐欺

県内では、携帯電話番号宛てに送信されるSMS(ショートメッセージサービス)を悪用した架空請求詐欺が急増しています。その手口は**有料サイトの料金等の支払を名目にお金をだまし取られるもの**で、実際に送られてくるSMSの内容は、実在する企業を名乗り、

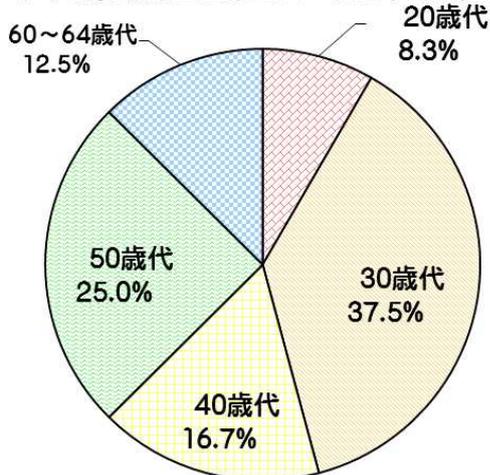
有料サイトの未納料金が発生しています。本日中にご連絡なき場合、法的手続に移行致します。

〇〇会社 03-〇〇〇〇〇-X X X X

というものです。犯人は、心配になって電話をかけてきた人に対し、「後日お金を返金する」と安心させた後、コンビニでの支払いや電子マネーの購入を指示し、お金をだまし取ります。

平成29年9月末現在、特殊詐欺の認知件数は81件で、その内**有料サイト料金等名目の架空請求詐欺は24件と、全体の約30%**を占めており、幅広い年代で被害が発生しています。

有料サイト利用料金等名目
年代別被害割合(9月末現在)



高齢者(65歳以上)よりも20歳代から60歳代前半の幅広い年代で被害にいらっしゃいますのでみなさんも気を付けてください。



※被害の届出はありませんが、架空請求詐欺の相談は、10代から高齢者までの幅広い年代から寄せられています。

メールや電話でお金のお話が出たら詐欺を疑い、支払う前に家族や警察に相談して下さい。